

6 監第 3 7 号
令和 7 年 3 月 2 1 日

岡 谷 市 長 早 出 一 真 様
岡谷市議会議長 今 井 康 善 様

岡谷市監査委員
山 岸 徹
竹 花 直 子
中 島 秀 明

財政援助団体等監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、
同条第 9 項の規定により次のとおり報告します。

令和 6 年度

財政援助団体等監査報告書

令和 7 年 3 月 2 1 日 提出

岡 谷 市 監 査 委 員

監査報告書

この監査は、全国都市監査基準に準拠した岡谷市監査基準に基づき実施した。

1 監査の対象及び範囲

(1) 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づく財政援助団体等監査

(2) 監査の対象

公益財団法人 おかや文化振興事業団

- ・ 令和 5 年度 公益財団法人おかや文化振興事業団 出損金 30,000,000 円
(所管課 地域創生推進課)
- ・ 令和 5 年度 文化会館管理委託料 163,108,153 円 (所管課 ブランド推進室)
- ・ 令和 5 年度 童画館管理委託料 71,770,906 円 (所管課 ブランド推進室)
- ・ 令和 5 年度 公園管理委託料 96,322,072 円 (所管課 土木課)
- ・ 令和 5 年度 文化会館自主事業補助金 9,000,000 円 (所管課 ブランド推進室)

(3) 監査の実施日

令和 7 年 1 月 21 日 (火)

(4) 監査執行者

岡谷市監査委員 山 岸 徹
 竹 花 直 子
 中 島 秀 明

(5) 監査の目的

岡谷市が補助金等の財政的援助を行っている団体等（出資法人、補助金等交付団体、指定管理者）について、令和 5 年度の事業を対象に、出納その他の事務が適正かつ効率的に行われているかを確認・検証するとともに、当該団体等の事務が出資等の目的に沿って適正に、かつ効果的に行われているかを主眼として監査を実施した。併せて、市の所管部局の当該団

体に対する指導等が適正に行われているかについても監査を実施した。

(6) 監査の実施手続

令和5年度の出納その他事務の執行について、岡谷市からの管理委託料及び補助金等に係る出納、その他事務が適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼とし、決算関係書類等あらかじめ提出を求めた資料の閲覧・関係職員からヒアリングを行い、それぞれ具体的に着眼点を定め監査を実施した。

(7) 監査の着眼点

○出資団体関係（公益財団法人おかや文化振興事業団）

- ア 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか。また、それら諸規程に基づいた事務が執行されているか。
- イ 設立目的（＝出資目的）に沿った事業運営が行われ、出資が生かされ、市民の福祉の増進につながっているか。
- ウ 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- エ 事業成績、財務状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- オ 経営成績及び財政状態は良好か。
- カ 収益率及び財務比率は良好か。また、人件費の内容、金額は事業規模に対して適切か。
- キ 関係帳票の整備、記帳は適切か。
- ク 会計経理及び財産管理は適切か。
- ケ 資金の運用は適切か。また、経費節減は図られているか。
- コ 会社の固有財産並びに市からの賃借財産の管理等は適正か。

○指定管理者関係（公益財団法人おかや文化振興事業団）

- ア 施設は関係法令等の定めるところにより、善良な管理者の注意をもって適切に管理されているか。
 - (ア) 法定点検が必要な施設、設備等は定められた時期に適切に点検が行われているか。また、点検結果で改善すべき事項があった場合に速やかに措置が講じられているか。
- イ 協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。
 - (ア) 市長等との協議、通知、各種報告は協定どおりなされているか。特に協議、承

認なく処理しているものはないか。

(イ) 協定等の内容に反する第三者への委託を行っていないか。

(ウ) 管理に関する経費は、指定管理者の他の経費と区分され会計されているか。また、管理に関する経費の請求、受領は協定等どおりなされているか。

(エ) 経費の負担区分が指定管理者となっている修繕等を放置、先送り等していないか。

(オ) 事業報告書の提出は期限内になされているか。

(カ) 事業報告書は適正に作成されているか。（管理業務の実施状況及び利用状況、料金収入の実績や管理経費の収支状況等）

(キ) 使用料を市の収入とする場合、市への納付は適切に行われているか。

(ク) 経費節減は図られているか。

(ケ) 住民の平等利用は確保されているか。

(コ) 施設及び設備の維持管理は、仕様書等どおり適切かつ効果的に行われているか。

また、施設賠償責任保険の加入及びその内容は適正か。

(サ) 個人情報の保護に関して必要な措置を講じているか。

(シ) 災害・緊急時の対応は明確になっているか。

(ス) 協定書等により貸与された物品の管理及び処分は適正になされているか。

ウ 利用料金制を採用しており、かつ指定管理者が定める場合、利用料金の設定等は適正になされているか。

(ア) 利用料金はあらかじめ承認を得ているか。

(イ) 利用料金の収納は適正に行われているか。

(ウ) 利用料金は、管理経費に充当され適正に運用されているか。

(エ) 利用料金を減免している場合、その手続は適正に行われているか。

(オ) 地方公共団体に納付金を納めることになっている場合、納付時期、納付金額及びその計算根拠は適正か。

エ 利用料金制を採用せず、指定管理者が使用料等を徴収又は収納している場合、その使用料等を適正に払い込んでいるか。

オ 利用促進及び利用者サービスの向上のための取組はなされているか。

カ 公の施設の管理に係る収支会計経理は適正になされているか。また、他の事業との会計区分は明確になっているか。

キ 公の施設の管理に係る管理規程、経理規程、情報セキュリティ規程等の諸規程は、

整備されているか。また、それら諸規程に基づいた事務が執行されているか。

ク 行政財産の目的外使用許可等、地方公共団体の長のみが行うことができる権限に属する事務が行われていないか。

ケ 自主事業を実施する場合は、協定等に基づき適正に実施されているか。

○補助金等交付団体関係（公益財団法人おかや文化振興事業団）

ア 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管部局へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告等は符号するか。

イ 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。

ウ 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。また、補助金等が補助等対象事業以外に流用されていないか。

エ 出納関係帳票等の整備、記帳は適正になされているか。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。

オ 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。

カ 補助金等の執行に関し、内部統制は有効に機能しているか。

キ 現金や預金通帳、銀行印等の管理体制は適切か。

ク 団体の監査役や監事は、独立性が確保され、有効に機能しているか。

○指定管理所管部局関係（ブランド推進室、土木課）

ア 公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定は、法、条例等に根拠をおいているか。

(ア) 指定管理者の指定の手続、指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲その他必要な事項は条例に規定されているか。

(イ) 利用料金制を採用している場合、条例に規定されているか。また、指定管理者が利用料金を定める場合、利用料金は合理的なものになっているか。その承認の手続は適正かつ迅速に行われているか。

(ウ) 利用料金制を採用せず、指定管理者が使用料等を徴収又は収納している場合、その委託の手続がされ、告示とともに納入義務者の見やすい方法により公表されているか。

(エ) 自主事業の承認は適切か。

イ 指定管理者の指定は、適正・公正に行われているか。

(ア) 指定管理者に管理を行わせる施設の名称、指定管理者となる団体の名称、指定期間等について、議会の議決を経ているか。

(イ) 指定に当たって、学識経験者等の意見等を聴いているか。（条例等で義務付け

られている場合)

(ウ) その他指定の手続は条例等に基づき適正に行われているか。

(エ) 公募を行わないで指定管理者を選定した場合、その選定理由は適切か。

(オ) 指定管理者の経営状況に注意を払っているか。

ウ 管理に関する協定等の締結は、適正に行われているか。

エ 協定書等には、必要事項が適正に記載されているか。

(ア) 管理する施設及び設備等の維持管理の範囲及び仕様、業務の内容は明確になっているか。

(イ) 指定管理者との間の経費の負担区分は、明確になっているか。その負担区分は合理的か。

(ウ) 区分経理を明記しているか。

(エ) 条例等に定められた管理の範囲を超える内容となっていないか。

(オ) 個人情報の保護に関して必要な措置を講じているか。

(カ) 備品の取扱いに関する事項は適切に記載されているか。

(キ) 災害・緊急時の対応は明確になっているか。

オ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続等は適正になされているか。

カ 事業報告書の点検は適切になされているか。

キ 指定管理者に対して適時かつ適切に当該業務又は経理の状況に関し報告を求め、調査し、又は指示を行っているか。

ク 指定管理者において施設の利用促進を図ることとしている場合は、利用状況に注意を払い、利用の奨励に努めているか。

ケ 指定管理者制度の採用により、効率的な管理、運営が図られ、利用促進が働くものとなっているか。

コ 利用料金制を採用している場合、そのことによって市民サービスの向上につながっているか。また、採用していない場合は、市民サービスの向上のため利用料金制を採用する余地がないか検討がなされているか。

サ 本来、市が実施すべき修繕等を放置しているものはないか、又は指定管理者の費用で実施させていないか。

シ 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。

ス 出資者としての権利行使は、適切に行われているか。

セ 出資団体の経営成績及び財政状況を十分把握し、適切な指揮監督を行っているか。

ソ 有価証券の保管は良好か。

タ 財産貸付に係る手続き等は適正か（契約内容、財産貸付価額の設定等）。

2 監査対象団体の概要等

(1) 公益財団法人おかや文化振興事業団

ア 団体の概要

公益財団法人おかや文化振興事業団（以下「事業団」という。）は、昭和61年3月に財団法人岡谷市振興公社として設立されたが、公益法人制度改革に伴い、平成25年4月に財団法人から公益財団法人へ移行し、「公益財団法人おかや文化振興事業団」に改称した。

事業団は、優れた芸術文化の提供、創造、発信や緑化の推進及び各種国際交流に関する事業等を行い、岡谷市の教育文化の振興と福祉の増進を図るとともに、快適なまちづくりに寄与することを目的とし、その目的の達成のために、文化施設、緑化施設等の管理・運営に関する事業、芸術文化振興の企画・運営に関する事業、緑化推進に関する事業、岡谷市の行う芸術文化、緑化及び国際交流事業等の受託に関する事業、国際交流に関する広報、啓発、相談、研修、親善に関する事業などを行っている。

岡谷市文化会館（カノラホール）、日本童画美術館（イルフ童画館）、都市公園（鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園）は、市が指定管理者制度を導入した平成18年度から、事業団の前身である財団法人岡谷市振興公社が指定管理業務を受託し、公益財団法人に移行後も業務を継続して行っている。また、都市公園（蚕糸公園）は令和5年6月1日から指定管理者として業務を行っている。施設の管理運営は、協定書、仕様書及び業務マニュアル等により実施されている。

イ 岡谷市との関係

今回の財政援助団体監査対象である事業団に対し、岡谷市は事業団の基本財産30,000,000円（全額）を出捐している。また、令和5年度は、文化会館管理委託料として163,108,153円、童画館管理委託料として71,770,906円、公園管理委託料として96,322,072円、文化会館自主事業補助金として9,000,000円を岡谷市一般会計より支出している。

ウ 組織構成について

役員構成は、理事長1名、常務理事1名、理事8名、監事2名の12名となっており、理事の中には岡谷市企画政策部長が含まれている。また、評議員は10名となっており、その中には岡谷市総務部長が含まれている。

エ 施設の概要

① 名 称：岡谷市文化会館（カノラホール）

所 在 地：岡谷市幸町8番1号

規 模：敷地面積 33,927㎡ 延床面積 8,879㎡

開設年月日：平成元年11月3日

主 要 施 設：ホール、小ホール、リハーサル室、第1練習室、第2練習室、会議室
（2室）、グランドロビー、喫茶室、事務室、駐車場

② 名 称：日本童画美術館（イルフ童画館）

所 在 地：岡谷市中央町二丁目2番1号

規 模：敷地面積 5,220㎡ 延床面積 1,400㎡

開館年月日：平成10年4月18日

主 要 施 設：第1企画展示室、第2企画展示室、武井武雄作品展示室、武井武雄刊
本作品展示室、武井武雄余技作品展示室、絵本ライブラリー「はらっ
ぱ」、ミュージアムショップ、収蔵庫、荷解室、倉庫、駐車場

③ 名 称：鳥居平やまびこ公園

所 在 地：岡谷市4769番地14ほか

規 模：敷地面積 300,471.50㎡

開設年月日：昭和58年4月1日

主 要 施 設：○有料公園施設以外の施設

いこいのひろば、花見ひろば、催物ひろば、ピクニックひろば、溪流
ひろば、展望ひろば、中央ひろば、オアシスひろば、南口ごろごろひ
ろば、植物園、健康の森、旧ローラースケート場、センターハウス、
駐車場

○有料公園施設

スポーツひろば、テニスコート、サイクリングコース、コインロッカ
ー、望遠鏡、サマーボブスレー及び単線固定循環式特殊索道（1人掛
け）等付帯施設

④ 名 称：岡谷湖畔公園

所 在 地：岡谷市湖畔一丁目10018番地41ほか

規 模：敷地面積 120,496.65㎡

開設年月日：平成6年7月14日

主 要 施 設：いこいとやすらぎのゾーン、みなとなぎさパーク、イベント・スカイ
スポーツゾーン、ウェルネスコアゾーン

⑤ 名 称：蚕糸公園

所 在 地：岡谷市幸町 9 番

規 模：敷地面積 1,278.28㎡

設置年月日：昭和31年10月15日

主 要 施 設：イベント広場、園路、植栽、芝生、花壇、四阿・パーゴラ、ベンチ、
ブロンズ像 2 基、水飲み、園内灯、フットライト、園名板、イルミ
ネーション

オ 施設の指定管理について

事業団が受託している施設にかかる指定管理の概要は下記のとおりである。

施設の名称	指定管理期間	管理経費の区分
岡谷市文化会館（カノラホール）	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	指定管理料
日本童画美術館（イルフ童画館）	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	指定管理料
鳥居平やまびこ公園	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	指定管理料
岡谷湖畔公園	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	指定管理料
蚕糸公園	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	指定管理料

3 事業の実施状況

(1) 事業の実施状況等

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業の中止や延期縮小等の対応をしてきたが、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行となったことから、年間を通じてほぼ予定どおり事業が実施された。実施された主な公益目的事業は、次のとおりである。

ア 文化及び芸術の振興を目的とする事業（公 1）

① 岡谷市文化会館（カノラホール）

(ア) 独自企画事業

- ・新日本フィルハーモニー交響楽団（鑑賞者数 824 人）
- ・0 才からのファミリーコンサート～あれぐりあ大陸～（鑑賞者数 198 人）

- ・はじめてのクラシックシリーズ Vol. 10 小学校アウトリーチコンサート（鑑賞者数上の原小学校 4.5 年生 66 人、湊小学校 4.5.6 年生 45 人） ほか
- (イ) 主催公演事業
 - ・高嶋ちさ子&加羽沢美濃～ゆかいな音楽会～（鑑賞者数 1,412 人）
 - ・東京スカパラダイスオーケストラ JUNK o r GEM（鑑賞者数 1,400 人）
 - ・永井和子メゾソプラノリサイタル～伝える～（鑑賞者数 1,020 人） ほか
- (ウ) 施設管理運営事業
 - ・建屋、外溝、駐車場等の日常的な点検と保守管理業務
 - ・建築設備の運転と各種点検
 - ・日常清掃、定期清掃、特別清掃
- (エ) 育成事業
 - ・カノラ少年少女合唱団定期演奏会（鑑賞者数 787 人、参加者 100 人）
 - ・カノラータ・オーケストラ第 24 回定期演奏会（鑑賞者数 392 人、参加者 70 人）
 - ・カノラータ・オーケストラ第 25 回定期演奏会（鑑賞者数 485 人、参加者 80 人） ほか
- ② 日本童画美術館（イルフ童画館）
- (ア) 展示事業
 - 収蔵作品展
 - ・大人も楽しむ武井武雄展
 - ・モーリス・センダックコレクション展
 - ・大澤コレクション展
 - ・武井武雄 収蔵作品展 テーマ：平和
 - ・武井武雄 版画展 ほか
 - 企画展
 - ・日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家かがくいひろしの世界展
 - ・とびだせ！長谷川義史展
 - 他館への作品貸出
 - ・糸で描く物語ー刺繍と絵とファッションと。 新潟県立万代島美術館、静岡県立美術館
 - ・本の芸術家・武井武雄展 県立神奈川近代文学館
- (イ) 調査、研究、資料、作品蒐集事業
 - ・寄贈受付、寄託受付、刊本作品読み語り&ギャラリートーク
- (ウ) 各種講座開催事業
- (エ) 絵本ワークショップ開催事業
 - ワークショップ・イベント事業

・kitpas で大きなだるまさんをえがこう！（参加者 60 名）ほか

○保育園・学校・教育事業

・大澤コレクション展・かがくいひろしの世界展・武井武雄収蔵作品展・長谷川義史展、武井武雄版画展の観覧（参加者 1,042 名）

○その他の事業

・神奈川近代文学館 企画展「本の芸術家 武井武雄展」・記念講演会「武井武雄、その生涯と芸術」（参加者約 80 名）

・開館 25 周年記念式典（参加者約 50 名）

(オ) 日本童画大賞運営事業

・第 12 回武井武雄記念日本童画大賞審査会・プレス発表・授賞式・祝賀式

(カ) 開架図書コーナーの設置

(キ) 講演会、コンサート開催事業

・聖心女子大学教授 水島尚喜氏講演会

・長谷川義史 サイン会・絵本ライブ ほか

(ク) 喫茶での展示会事業

・オリジナルメニューの開発・販売

イ 都市緑化及び都市公園等に関する普及啓発及び利用促進並びに運営管理を行い、もって市民福祉の増進と文化芸術の振興に寄与する事業（公 2）

① 鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園及び蚕糸公園

(ア) 緑化促進、街路樹管理事業

(イ) イベント事業

・第 31 回やまびこフェスティバル

・やまびこ夜景コンサート

・プリンス&スカイラインミュージアム ほか

(ウ) スポーツ施設・遊具施設等管理事業

・マレットゴルフ場、ディスクゴルフ場営業

・スポーツ施設、サマーボブスレー等遊具施設営業

(エ) 岡谷市都市公園の運営管理事業

・保守管理業務

・植栽管理業務

・清掃業務

- ・設備・備品管理業務

【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した自主事業】

○鳥居平やまびこ公園

- ・プリンス&スカイラインミュージアムフェスティバル

ウ 地域の国際化に対応するための広報、相談及び在住外国人生活支援並びに国際交流に関する啓発、研修、親善活動の一層の充実を図り、よりよい多文化共生社会の構築に寄与する事業（公3）

① 国際交流センター

(ア) 国際理解推進事業

- ・国際交流員設置事業
- ・「世界にタッチ英語にふれよう事業」 ほか

(イ) 外国人生活支援事業

- ・日本語教室
- ・在住外国人のための施設見学会

(ウ) 窓口相談・外国籍就学児童生徒支援員派遣事業

- ・相談窓口の設置・翻訳・通訳
- ・日本語の理解が十分でない外国籍児童生徒の通訳支援のため、学校へ外国語支援員を派遣

(エ) 広報紙の発行等情報発信事業

- ・ホームページによる情報発信
- ・フェイスブックによる情報発信

(オ) 国際交流活動事業

- ・高校生国際推進支援事業
- ・姉妹都市高校生生活体験事業 ほか

(カ) 国際理解共催事業

- ・イングリッシュ・サロン支援派遣事業 ほか

(キ) 英語スピーチコンテスト事業

- ・第32回岡谷市英語スピーチコンテスト

(2) 収益事業

① 岡谷市文化会館（カノラホール）

(単位：円、%)

事業区分	令和5年度 収 入 (A)	令和4年度 収 入 (B)	増 減	
			金 額 (C=A-B)	率 (C/B×100)
入場券受託販売	206,924	231,242	△24,318	△10.5
ホール等賃貸	31,878,830	30,259,000	1,619,830	5.4
喫茶運営	1,057,484	778,372	279,112	35.9
小 計	33,143,238	31,268,614	1,874,624	6.0

② 日本童画美術館（イルフ童画館）

(単位：円、%)

事業区分	令和5年度 収 入 (A)	令和4年度 収 入 (B)	増 減	
			金 額 (C=A-B)	率 (C/B×100)
ミュージアムショップ	38,574,926	8,537,101	30,037,825	351.9
喫茶運営	2,840,580	2,223,010	617,570	27.8
小 計	41,415,506	10,760,111	30,655,395	284.9

③ 鳥居平やまびこ公園

(単位：円、%)

事業区分	令和5年度 収 入 (A)	令和4年度 収 入 (B)	増 減	
			金 額 (C=A-B)	率 (C/B×100)
事務所横売店運営	4,178,581	3,860,071	318,510	8.3
センターハウススラン事業	2,891,490	2,316,210	575,280	24.8
プリンス&スカイラインミュージアム売店事業	10,537,710	10,575,738	△38,028	△0.4
小 計	17,607,781	16,752,019	855,762	5.1
合計 (①～③)	92,166,525	58,780,744	33,385,781	56.8

(3) 施設の利用状況等

ア 利用者数と施設使用料・入館料

① 岡谷市文化会館（カノラホール）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増減率
利用者数	76,637人	65,098人	11,539人	17.7%
施設使用料	18,182,797円	14,244,050円	3,938,747円	27.7%

② 日本童画美術館（イルフ童画館）

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増減率
入館者数	42,701人	19,338人	23,363人	120.8%
入館料	9,749,510円	2,944,840円	6,804,670円	231.1%

③ 鳥居平やまびこ公園

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増減率
入園者数	128,700人	137,900人	△9,200人	△6.7%
施設使用料	5,318,460円	5,745,070円	△426,610円	△7.4%

※岡谷市文化会館条例、岡谷市都市公園条例に規定する施設の使用料収入及び日本童画館条例に規程する入館料については、各施設の管理に関する基本協定書第25条により、事業団が徴収し、岡谷市の指定金融機関へ払い込む取り扱いとなっている。

※使用料・入館料は減免・無料となるものや年齢等により金額が異なるものなどがあるため施設利用者数とは必ずしも比例するものではない。

（４）決算の状況

ア 財産の状況

令和 5 年度末における事業団の財産状況は、別表 1 の貸借対照表のとおりである。

令和 5 年度末の資産合計は254,134,719円、負債合計は37,391,485円、正味財産合計は216,743,234円である。

資産合計は、令和 4 年度（250,121,731円）と比較して、4,012,988円（1.6%）の増となっている。これは主に固定資産において、その他固定資産のリース資産で1,914,364円の減となったものの、流動資産において普通預金で2,265,250円の増、固定資産において文化会館周年事業積立金で2,000,000円の皆増となったことによるものである。

負債合計は、令和 4 年度（38,104,446円）と比較して、712,961円（1.9%）の減となっている。これは主に固定負債においてリース債務が2,136,240円の皆減となったことによるものである。

これらの結果、正味財産合計は216,743,234円となり、令和 4 年度（212,017,285円）と比較して、4,725,949円（2.2%）の増となっている。

イ 収支状況

令和 4 年度及び令和 5 年度の比較正味財産増減計算書は、別表 2 のとおりである。

令和 5 年度における収支状況は、経常収益は454,224,625円、経常費用は448,823,776円である。一般正味財産の令和 5 年度期末残高は、186,743,234円であ

り、令和4年度（182,017,285円）と比較して、4,725,949円（2.6％）の増となっている。

令和5年度における主な経常収益は、事業収益443,648,556円や岡谷市からの文化会館自主事業補助金収入9,000,000円である。

令和5年度の経常収益を、令和4年度（422,881,648円）と比較すると、31,342,977円（7.4％）の増となっているが、これは主に受取補助金等が20,878,513円の減となったものの、売店事業収益が30,318,307円の増、指定管理料等の受託事業収益が23,540,131円の増になったことなどによるものである。

事業団は、公益法人会計基準に基づき、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計の3会計を区分経理しているが、公益認定法により公益目的事業比率が50％以上となることを要求される中で、79.6％を占めるとともに、公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償うことを超えないこととされる収支相償が課せられていることなどから財政状況は厳しいものの、収益事業の収入増により事業団全体では4,725,949円の黒字となっている。

令和5年度の各会計別の収支状況は、別表3の正味財産増減計算書内訳表のとおりで、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計の概要を以下の①から③に示す。

① 公益目的事業会計

本会計は、文化振興事業（公1）、都市公園管理事業（公2）、国際交流センター（公3）及び公益目的事業（共通）の各事業を経理するものである。

経常収益は354,314,653円であり、主に受託事業収益307,427,301円、入場料収益30,427,200円及び受取地方公共団体補助金9,000,000円となっている。一方、経常費用は357,096,318円で、主に委託費92,278,173円、給料手当89,649,268円及び臨時雇賃金33,853,784円などとなっている。

経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、2,781,665円の赤字であるが、利益が生じた収益事業等会計から他会計振替額3,193,048円の繰り入れを行った結果、当期一般正味財産増減額は、411,383円の黒字となっている。

② 収益事業等会計

本会計は、岡谷市文化会館（カノラホール）の入場券受託販売、ホール等賃貸、喫茶運営のほか、日本童画美術館（イルフ童画館）及び鳥居平やまびこ公園の売店運営等の事業を経理するものである。

経常収益は92,166,525円であり、主に売店事業収益53,291,217円及び受託事業収

益 31,878,830 円である。一方、経常費用は 84,375,257 円で、主に事業原価 43,747,009 円、給料手当 11,771,906 円及び委託費 9,745,864 円などとなっている。

経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、7,791,268 円の黒字であるが、収益事業等から生じた利益は一定の調整を行った上で、原則として、その 50% を公益目的事業会計へ繰り入れることとされているため、他会計振替額として法人会計へ 1,405,173 円、また公益目的事業会計へ 3,193,048 円の繰り出しを行い、法人住民税 674,900 円を控除した結果、当期一般正味財産増減額は、2,518,147 円の黒字となっている。

③ 法人会計

本会計は、事業団の管理運営を経理するものである。

経常収益は 7,743,447 円であり、主に受託事業収益 7,705,000 円である。一方、経常費用は 7,352,201 円で、主に役員報酬 2,343,104 円及び給料手当 2,123,818 円などとなっている。

経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、391,246 円の黒字であるが、利益が生じた収益事業等会計から他会計振替額 1,405,173 円の繰り入れを行った結果、当期一般正味財産増減額は、1,796,419 円の黒字となっている。

3 監査の結果

今回、財政援助団体等監査の対象となった事業団の事業報告書、決算書、財産に関する調書等の証拠書類及び補助金等交付申請書、実績報告書等の確認を行った結果、岡谷市からの支出並びに指定管理料については、交付目的どおり適正かつ効率的に執行され、また、指定管理の目的に沿って、適正に事業運営が行われているものと認められた。

4 意見・要望事項

(全般的な事項について)

事業団は、公益財団法人であることによる利点もある一方で、公益目的事業比率が 50% 以上であることや、当該事業の収支相償の原則などにより、厳しい財政運営を強いられることは必然とも言えるが、収益事業での増収により、今後の周年事業に係る費用の支出に備えた資金を積み立てるなど健全な事業運営を行っている。

事業団が施設管理を統括して行うことにより諸経費の削減が図れる業務等もあると思われるため、引き続き業務改善に意を配され、施設の適正な管理と利用者目線で、質の高いサービス

の向上を図られたい。併せて経験を生かした積極的な事業推進による、関係人口の創出への繋がりも期待する。

地域創生推進課、ブランド推進室、土木課においては、今後とも、所管課として指導・監督を行い、管理業務の履行確認に十分留意するとともに、改善を要するものについては、迅速にその措置を講じられたい。

以下、意見要望事項について個別に記述する。

(カノラホールの施設管理について)

大規模改修工事等の年次計画が策定されており、市側と協議しながら適時適切な対応がなされているが、今後、経年劣化に伴う突発的修繕が増えることが想定される。令和6年2月16日に突発的に起こった高圧ケーブルの絶縁破壊による全館停電の際には、当日と翌日のイベントの中止、延期となったものの、関係業者やイベンターへの迅速な対応により、指定管理者として被害を最小限に留めることができた。高圧ケーブルの絶縁破壊は機器の不良によるものであったが、今後も日常点検や専門業者による定期的な点検、耐用年数を総合的に判断し、改修、修繕にあたっては、音楽ホールとして、本来の機能を損なうことがないよう保全することはもちろんのこと、来館者の安全性の確保の観点からも、引き続き適正な施設管理に意を配されたい。

(日本童画美術館（イルフ童画館）の企画展について)

令和5年度は、開館25周年として記念グッズの新規制作及び武井武雄作品の再販や企画展の受託販売商品等の売上が伸び、売店事業収入は大幅な増額となった。特に、かがくいひろしの世界展開催中は入館者が増加し、入館者数は開館以来最多となり、イルフ童画館の知名度向上に相乗効果の高い企画展であったと評価できる。また、市内小中学校への学芸員による出前講座やワークショップの実施、展示の観覧など、子ども達が作品の素晴らしさ等を認知できる活動を行うことで、豊かな感性を育む機会を創出し、将来にわたり市内外へ情報発信できる人材の育成に取り組んでいる。今後も、武井作品や童画館の知名度向上、入館者増につなげるべく、相乗効果の高い企画展の開催に意を配され、教育振興、地域振興事業について推進されたい。

(鳥居平やまびこ公園入園者数について)

令和5年度の入園者数は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、各地でさまざまなイベントが再開したが、イベントが重複したことや天候不順により、目標達成とならなかった。

来園者アンケートの結果からやまびこ公園ではサマーボブスレーが人気であり、リピート率も高いことが示されている。ボブスレーが設置されている公園は県内では限られることから、集客の一因になり得ると考える。現在も運行日数を増やすなどの工夫をされているが、今後も、

アンケート結果等を参考に来場者のニーズを的確に把握され、公園の魅力についてPR方法等を工夫し、目標入園者数の達成に向け、取り組まれない。

(電子決済の導入について)

各施設における会計窓口の電子決済については、事業団が対応するものは、ほぼ導入済みであるが、市のシステムを利用している窓口では導入されておらず、不十分である。利用者からの要望が多い事項であるとともに、サービスの向上と事務の効率化を同時に達成する行政DX推進の観点から、システムや券売機の入替時期に合わせ、電子マネー決済やQRコード決済等の導入について積極的に検討されるよう意を配されたい。

公益財団法人おかや文化振興事業団

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,405,000	1,155,000	250,000
普通預金	37,054,793	34,789,543	2,265,250
定期預金	80,000,000	80,000,000	0
未収金	20,254,594	21,099,772	△ 845,178
たな卸資産	17,284,812	15,705,778	1,579,034
貯蔵品	48,742	62,978	△ 14,236
前払費用	50,500	24,700	25,800
流動資産合計	156,098,441	152,837,771	3,260,670
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	9,431,764	9,086,123	345,641
文化事業基金	19,492,823	18,716,423	776,400
施設修繕基金	13,254,698	12,913,783	340,915
国際交流基金	2,906,644	2,906,587	57
文化会館周年事業積立金	2,000,000	0	2,000,000
童画美術館開館25周年・生誕130年記念事業積立金	4,500,000	6,000,000	△ 1,500,000
やまびこ公園車両運搬具購入積立金	3,500,000	3,000,000	500,000
特定資産合計	55,085,929	52,622,916	2,463,013
(3) その他固定資産			
建物附属設備	5,254,990	5,880,506	△ 625,516
車両運搬具	10	55,720	△ 55,710
什器備品	2,706,419	1,826,059	880,360
機械装置	263,148	368,553	△ 105,405
構築物	4,153,943	4,042,661	111,282
器具備品	1	1	0
リース資産	1	1,914,365	△ 1,914,364
電話加入権	410,000	410,000	0
敷金	53,000	53,000	0
出資金	10,000	10,000	0
長期前払費用	98,837	100,179	△ 1,342
その他固定資産合計	12,950,349	14,661,044	△ 1,710,695
固定資産合計	98,036,278	97,283,960	752,318
資産合計	254,134,719	250,121,731	4,012,988
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	26,382,864	24,007,373	2,375,491
未払消費税等	4,833,400	3,668,300	1,165,100
前受金	0	465,150	△ 465,150
預り金	5,500,321	7,488,483	△ 1,988,162
未払法人税等	674,900	338,900	336,000
流動負債合計	37,391,485	35,968,206	1,423,279
2. 固定負債			
リース債務	0	2,136,240	△ 2,136,240
固定負債合計	0	2,136,240	△ 2,136,240
負債合計	37,391,485	38,104,446	△ 712,961
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	186,743,234	182,017,285	4,725,949
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(55,085,929)	(52,622,916)	(2,463,013)
正味財産合計	216,743,234	212,017,285	4,725,949
負債及び正味財産合計	254,134,719	250,121,731	4,012,988

公益財団法人おかや文化振興事業団

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,581	6,600	△ 19
基本財産運用益計	6,581	6,600	△ 19
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,122	1,167	△ 45
特定資産運用益計	1,122	1,167	△ 45
事業収益			
受託事業収益	347,011,131	323,471,000	23,540,131
入場料収益	30,427,200	31,081,588	△ 654,388
負担金収益	200,000	469,000	△ 269,000
飲食事業収益	6,789,554	5,267,672	1,521,882
売店事業収益	53,291,217	22,972,910	30,318,307
緑化事業収益	1,174,554	1,235,822	△ 61,268
イベント収益	401,400	413,100	△ 11,700
スポーツ施設等収益	4,217,150	4,983,550	△ 766,400
翻訳料収益	99,000	48,000	51,000
受講料収益	37,350	34,830	2,520
事業収益計	443,648,556	389,977,472	53,671,084
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	9,000,000	21,878,513	△ 12,878,513
受取その他補助金	0	8,000,000	△ 8,000,000
受取補助金等計	9,000,000	29,878,513	△ 20,878,513
受取寄付金			
受取寄付金	0	2,480,000	△ 2,480,000
事業協賛金収益	1,150,000	120,000	1,030,000
受取寄付金計	1,150,000	2,600,000	△ 1,450,000
雑収益			
受取利息	19,125	19,602	△ 477
雑収益	399,241	398,294	947
雑収益計	418,366	417,896	470
経常収益計	454,224,625	422,881,648	31,342,977
(2) 経常費用			
事業費			
事業原価	43,852,119	18,404,351	25,447,768
役員報酬	5,835,246	5,615,938	219,308
給料手当	101,421,174	102,732,382	△ 1,311,208
臨時雇賃金	36,315,141	32,490,700	3,824,441
法定福利費	23,285,757	23,830,807	△ 545,050
福利厚生費	685,045	755,301	△ 70,256
旅費交通費	1,496,913	5,633,690	△ 4,136,777
通信運搬費	3,192,133	4,380,750	△ 1,188,617
消耗什器備品費	0	73,150	△ 73,150
消耗品費	12,836,437	13,354,449	△ 518,012
修繕費	13,449,608	18,239,701	△ 4,790,093
印刷製本費	1,709,121	855,495	853,626
燃料費	7,968,944	9,420,248	△ 1,451,304
光熱水料費	35,764,789	34,599,842	1,164,947
賃借料	1,840,280	1,862,440	△ 22,160

保険料	1,842,717	2,165,663	△ 322,946
諸謝金	4,915,798	5,043,902	△ 128,104
支払負担金	819,372	1,586,613	△ 767,241
委託費	102,024,037	96,934,993	5,089,044
食糧費	967,930	322,620	645,310
使用料	5,734,736	6,050,283	△ 315,547
支払手数料	2,797,560	2,516,745	280,815
広告宣伝費	11,194,598	11,688,294	△ 493,696
支払寄付金	15,000	30,000	△ 15,000
損害賠償金	11,272	10,000	1,272
建物減価償却費	1,394,234	1,358,094	36,140
車両運搬具減価償却費	55,710	292,293	△ 236,583
什器備品減価償却費	2,864,404	2,879,110	△ 14,706
機械装置減価償却費	105,405	147,626	△ 42,221
租税公課	17,076,095	16,497,399	578,696
事業費計	441,471,575	419,772,879	21,698,696
管理費			
役員報酬	2,343,104	2,111,412	231,692
給料手当	2,123,818	1,846,231	277,587
法定福利費	808,198	729,350	78,848
福利厚生費	121,042	123,471	△ 2,429
会議費	14,749	14,349	400
交際費	24,840	21,600	3,240
通信運搬費	40,736	52,249	△ 11,513
消耗品費	180,802	137,987	42,815
修繕費	13,321	71,532	△ 58,211
印刷製本費	10,992	1,414	9,578
保険料	83,232	84,979	△ 1,747
支払負担金	38,878	38,877	1
広告宣伝費	39,725	39,724	1
支払手数料	83,809	80,814	2,995
委託費	581,156	568,837	12,319
使用料	269,654	337,402	△ 67,748
建物減価償却費	0	44,525	△ 44,525
租税公課	574,145	492,121	82,024
管理費計	7,352,201	6,796,874	555,327
経常費用計	448,823,776	426,569,753	22,254,023
評価損益等調整前当期経常増減額	5,400,849	△ 3,688,105	9,088,954
当期経常増減額	5,400,849	△ 3,688,105	9,088,954
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,400,849	△ 3,688,105	9,088,954
法人税、住民税及び事業税	674,900	338,900	336,000
当期一般正味財産増減額	4,725,949	△ 4,027,005	8,752,954
一般正味財産期首残高	182,017,285	186,044,290	△ 4,027,005
一般正味財産期末残高	186,743,234	182,017,285	4,725,949
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	216,743,234	212,017,285	4,725,949

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	行	公1 (文化振興事業)	公2 (都市公園管理事業)	公3 (国際交流センター)	共通 (公益)	小計	収支事業等会計 (売店・喫茶ほか)	法人会計	合計	行
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用収益										
基本財産受取利息	1	0	0	0	6,581	6,581	0	0	6,581	1
基本財産運用益計	2	0	0	0	6,581	6,581	0	0	6,581	2
特定資産運用収益										
特定資産受取利息	3	0	0	0	0	0	0	1,122	1,122	3
特定資産運用益計	4	0	0	0	0	0	0	1,122	1,122	4
事業収益										
受託事業収益	5	197,728,229	94,232,072	15,467,000	0	307,427,301	31,878,830	7,705,000	347,011,131	5
入場料収益	6	20,323,400	10,103,800	0	0	30,427,200	0	0	30,427,200	6
負担金収益	7	200,000	0	0	0	200,000	0	0	200,000	7
飲食事業収益	8	0	0	0	0	0	6,789,554	0	6,789,554	8
売店事業収益	9	0	0	0	0	0	53,291,217	0	53,291,217	9
緑化事業収益	10	0	1,174,554	0	0	1,174,554	0	0	1,174,554	10
イベント収益	11	0	401,400	0	0	401,400	0	0	401,400	11
スポーツ施設等収益	12	0	4,217,150	0	0	4,217,150	0	0	4,217,150	12
翻訳料収益	13	0	0	99,000	0	99,000	0	0	99,000	13
受託料収益	14	0	0	37,350	0	37,350	0	0	37,350	14
事業収益計	15	218,251,629	110,128,976	15,603,350	0	343,983,955	91,959,601	7,705,000	443,648,556	15
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	16	9,000,000	0	0	0	9,000,000	0	0	9,000,000	16
受取補助金等計	17	9,000,000	0	0	0	9,000,000	0	0	9,000,000	17
受取寄付金										
事業協賛金収益	18	1,150,000	0	0	0	1,150,000	0	0	1,150,000	18
受取寄付金計	19	1,150,000	0	0	0	1,150,000	0	0	1,150,000	19
雑収益										
受取利息	20	0	0	0	0	0	0	19,125	19,125	20
雑収益	21	160,870	0	13,247	0	174,117	206,924	18,200	399,241	21
雑収益計	22	160,870	0	13,247	0	174,117	206,924	37,325	418,366	22
経常収益計	23	228,562,499	110,128,976	15,616,597	6,581	354,314,653	92,166,525	7,743,447	454,224,625	23
(2) 経常費用										
事業費										
事業原価	24	0	105,110	0	0	105,110	43,747,009	0	43,852,119	24
役員報酬	25	2,584,107	1,151,469	1,684,606	0	5,420,182	415,064	0	5,835,246	25
給料手当	26	64,264,798	18,674,037	6,710,433	0	89,649,268	11,771,906	0	101,421,174	26
臨時雇賃金	27	6,096,937	25,447,636	2,309,211	0	33,853,784	2,461,357	0	36,315,141	27
法定福利費	28	13,182,931	6,046,239	1,342,608	0	20,571,778	2,713,979	0	23,285,757	28
福利厚生費	29	350,699	215,662	53,038	0	619,399	65,646	0	685,045	29
旅費交通費	30	1,023,648	47,055	421,950	0	1,492,653	4,260	0	1,496,913	30
通信運搬費	31	2,243,649	432,257	73,024	0	2,748,930	443,203	0	3,192,133	31
消耗品費	32	6,038,784	5,014,992	377,749	0	11,431,525	1,404,912	0	12,836,437	32
修繕費	33	4,895,570	7,620,692	1,142	0	12,517,404	932,204	0	13,449,608	33
印刷製本費	34	1,497,409	40,602	5,240	0	1,543,251	165,870	0	1,709,121	34
燃料費	35	5,275,457	1,292,773	23,926	0	6,592,156	1,376,788	0	7,968,944	35
光熱水料費	36	22,258,567	8,992,241	0	0	31,250,808	4,513,981	0	35,764,789	36
賃借料	37	0	1,840,280	0	0	1,840,280	0	0	1,840,280	37
保険料	38	443,819	1,273,481	18,634	0	1,735,934	106,783	0	1,842,717	38
諸謝金	39	3,963,013	537,915	414,870	0	4,915,798	0	0	4,915,798	39
支払負担金	40	426,807	323,006	13,332	0	763,145	56,227	0	819,372	40
委託費	41	70,109,429	22,118,930	49,814	0	92,278,173	9,745,864	0	102,024,037	41
食糧費	42	699,463	38,638	227,216	0	965,317	2,613	0	967,930	42
使用料	43	3,027,508	916,926	1,238,395	0	5,182,829	551,907	0	5,734,736	43
支払手数料	44	1,409,599	693,536	7,184	0	2,110,319	687,241	0	2,797,560	44
広告宣伝費	45	10,247,055	914,102	3,405	0	11,164,562	30,036	0	11,194,598	45
支払寄付金	46	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000	46
損害賠償金	47	11,272	0	0	0	11,272	0	0	11,272	47
建物減価償却費	48	373,980	954,387	0	0	1,328,367	65,867	0	1,394,234	48
車両運搬具減価償却費	49	0	55,710	0	0	55,710	0	0	55,710	49
什器備品減価償却費	50	2,059,078	252,872	21,888	0	2,333,838	530,566	0	2,864,404	50
機械装置減価償却費	51	0	105,405	0	0	105,405	0	0	105,405	51
租税公課	52	7,848,456	5,494,581	1,166,084	0	14,509,121	2,566,974	0	17,076,095	52
事業費計	53	230,332,035	110,600,534	16,163,749	0	357,096,318	84,375,257	0	441,471,575	53
管理費										
役員報酬	54	0	0	0	0	0	0	2,343,104	2,343,104	54
給料手当	55	0	0	0	0	0	0	2,123,818	2,123,818	55
法定福利費	56	0	0	0	0	0	0	808,198	808,198	56
福利厚生費	57	0	0	0	0	0	0	121,042	121,042	57
会議費	58	0	0	0	0	0	0	14,749	14,749	58
交際費	59	0	0	0	0	0	0	24,840	24,840	59
通信運搬費	60	0	0	0	0	0	0	40,736	40,736	60
消耗品費	61	0	0	0	0	0	0	180,802	180,802	61
修繕費	62	0	0	0	0	0	0	13,321	13,321	62
印刷製本費	63	0	0	0	0	0	0	10,992	10,992	63
保険料	64	0	0	0	0	0	0	83,232	83,232	64
支払負担金	65	0	0	0	0	0	0	38,878	38,878	65
広告宣伝費	66	0	0	0	0	0	0	39,725	39,725	66
支払手数料	67	0	0	0	0	0	0	83,809	83,809	67
委託費	68	0	0	0	0	0	0	581,156	581,156	68
使用料	69	0	0	0	0	0	0	269,654	269,654	69
租税公課	70	0	0	0	0	0	0	574,145	574,145	70
管理費計	71	0	0	0	0	0	0	7,352,201	7,352,201	71
経常費用計	72	230,332,035	110,600,534	16,163,749	0	357,096,318	84,375,257	7,352,201	448,823,776	72
経常増減の部	73	△ 1,769,536	△ 471,558	△ 547,152	6,581	△ 2,781,665	7,791,268	391,246	5,400,849	73
当期経常増減額	74	△ 1,769,536	△ 471,558	△ 547,152	6,581	△ 2,781,665	7,791,268	391,246	5,400,849	74
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	75	0	0	0	0	0	0	0	0	75
(2) 経常外費用										
経常外費用計	76	0	0	0	0	0	0	0	0	76
当期経常外増減額	77	0	0	0	0	0	0	0	0	77
他会計振替前当期一般正味財産増減額	78	△ 1,769,536	△ 471,558	△ 547,152	6,581	△ 2,781,665	7,791,268	391,246	5,400,849	78
他会計振替額	79						△ 1,405,173	1,405,173	0	79
他会計振替額	80						△ 3,193,048	3,193,048	0	80
税引前当期一般正味財産増減額	81	△ 1,769,536	△ 471,558	△ 547,152	3,193,048	3,193,048	△ 3,193,048	1,796,419	5,400,849	81
法人税、住民税及び事業税	82				3,199,629	411,383	674,900		674,900	82
当期一般正味財産増減額	83	△ 1,769,536	△ 471,558	△ 547,152	3,199,629	411,383	2,518,147	1,796,419	4,725,949	83
一般正味財産期首残高	84								182,017,285	84
一般正味財産期末残高	85								186,743,234	85
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	86	0	0	0	0	0	0	0	0	86
指定正味財産期首残高	87								30,000,000	87
指定正味財産期末残高	88								30,000,000	88
III 正味財産期末残高	89								216,743,234	89

(注) 借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計額のみを記載している。